

令和6年12月8日

令和7年度 日本大学芸術学部写真学科
編入学転部選考 小論文問題

写真は視覚芸術ですが「写真を読む」という言い方があります。これはどういう意味ですか。あなたの考えを述べなさい。

(60分, 800字)

以 上

試験問題

次の文章を読んで、「アートと美」について考えたことを論じなさい。

美はわれわれを支配する。われわれは美に惹かれる。美のためなら労をいとわない。美に夢中になる。美はわれわれを喜ばせる。インスピレーションを与える。痛みも与える。絶望に陥れる。神話が真実なら、美は1000艘の船を戦に送り出すこともできる。だが、この「美」と呼ばれるものは、厳密にはどんなものなのだろう。

美とは、この世に実在するものの特性なのか。それとも頭の中にあるものなのか。文化によって生み出された虚構なのか。おそらく美は、影響力をもつ者によって作り出される。その者は美を利用して、自らの権力を保持し、品物売って金を儲ける。美に関するこのような考え方は、美とは基本的に実用性をもたないものだとする一般的な見方と相いれない。また、美とは真や善と並んでわれわれの人間性の基盤となる中核的な価値の1つだとする、古代ギリシャ時代から続く信念もある。思慮深い人は、美をこうしたさまざまならえ方のいずれかにあてはまるものと見なしている。つまり美とは、われわれが求めてやまない力強く謎めいたものなのだ。しかし、それがどこにあるのか、何のためにあるのか、われわれにはわからない。

『なぜ人はアートを楽しむように進化したのか』 アンジャン・チャタジー 著 草思社

※題名欄には題名を記入すること。

※字数 一〇〇〇字

※時間 八〇分

●試験内容に関する質問には応じない。

●この問題用紙はメモに利用しても良いが、試験終了後回収する。

令和七年度 (2025年度)

実技試験問題

発声 一 【次の内容をはっきりと述べてください。】

受験番号 () 番 () 氏名 () です。

出身は (都道府県名) で、 (学校名・学部) に在学中です。

年齢は、 () 歳です。

発声 二 【次の文章を朗読して下さい。尚、() 内は朗読しなくて結構です。】

著作権の都合上、省略。

(「山田洋次 夢をつくる」 朝日新聞 令和6年11月16日)

動作 【次の内容をしぐさのみで表現して下さい。】

〔設定〕 休日。友達と遊んだ帰り道。

喉が渴いたので飲み物を買おうと自販機の前で立ち止まる。

買う飲み物を決めて小銭を取り出す。

十円足りない。

どこかにあったはずだとポケットを探してみる。

手にした小銭を落としてしまう。硬貨が転がる。

拾おうとしたら、近くにあったマンホールの隙間に入ってしまった。

買わずに帰っていく。

(そのまま退場して下さい)

2025年度 美術学科

絵画コース（絵画専攻）

編入学・転部試験

令和6年12月8日

実技試験問題

〔内容〕 5時間30分 油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し、静物を描く



〔モチーフ〕

- 松ぼっくり × 1
- ポインセチア × 1
- 瓶 × 1
- ポット × 1
- 布 × 1

以上

2025 年度 美術学科

絵画コース (絵画専攻)

編入学(3年次)

令和6年12月8日

実技試験問題

[内容] 6時間 油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し、静物を描く



[モチーフ]

●レモン × 2

●布 × 1

●青リンゴ × 2

●赤りんご × 1

●ポインセチア × 1

●オレンジ × 3

●木製ボウル × 1

●ポット × 1

以上

令和7年度 地域芸術専攻 編入試験

あなたが考える地域をあげ、その場所で行われる芸術祭やイベントに於いて、下記にある言葉の中から2つ以上を用いて、大学に関わる意義と必要な問題点を述べてください。

潜在能力 普及活動 事業委託 指定管理 非営利組織 メセナマネジメント 慈善活動
外部評価 地域格差 都市問題 ハコモノ批判 公的補助 無償労働 産業遺構

受験番号 _____

氏名 _____

答えは問題用紙に直接記入しなさい。

I. 2音間の音程を日本語で答えなさい。複音程は単音程に直して答えること。

(1) _____ (2) _____ (3) _____

(4) _____ (5) _____ (6) _____ (7) _____

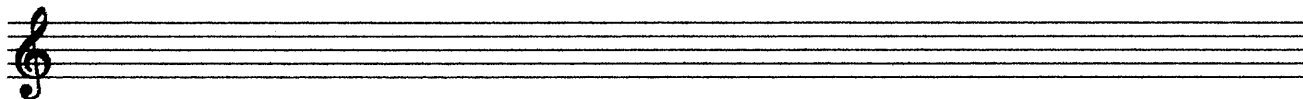
(8) _____ (9) _____ (10) _____

II. 次の(1)から(4)のそれぞれの指示に従い、音階の上行形を全音符で書きなさい。
ただし、音階の上行形と下行形が異なる場合は、上行形と下行形の両方を書くこと。

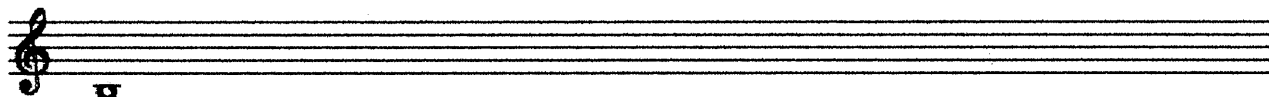
(1) 変ニ長調の音階 (調号を用いて)

(2) 次の音を導音とする和声的短音階 (調号を用いないで)

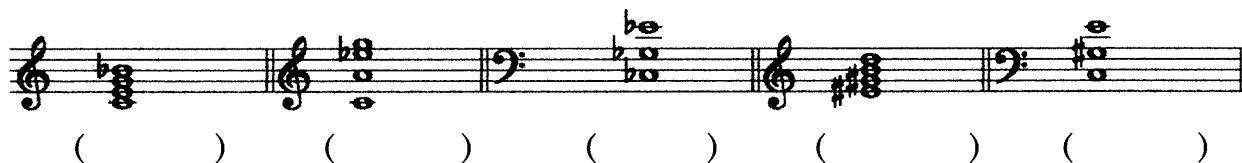
(3) 次の和音を属和音とする長音階 (調号を用いて)



(4) 次の音から始まる旋律的短音階 (調号を用いないで)



III. 以下の5つの和音の名称を、()に記号を書き込む形で答えなさい。
なお、臨時記号はその音だけに有効です。



- a) 長三和音
- b) 短三和音
- c) 減三和音
- d) 増三和音
- e) 属七の和音
- f) 短七の和音
- g) 長七の和音
- h) 減五短七の和音
- i) 減七の和音

IV. (1)と(2)の楽譜を見て、何調から何調に転調しているか、日本語かドイツ語で答えなさい。

(1)

() → () → ()

(2)

() → ()

V. 問い IV の(2)の譜例の上段を、完全5度下げて書き換えなさい。その際、調号は使わずに、臨時記号を使って書き換えること。スラーはつけないで書くこと。

VI. 1)から 10)の音楽用語の意味を下の A~R の中から選び、記号で答えなさい。

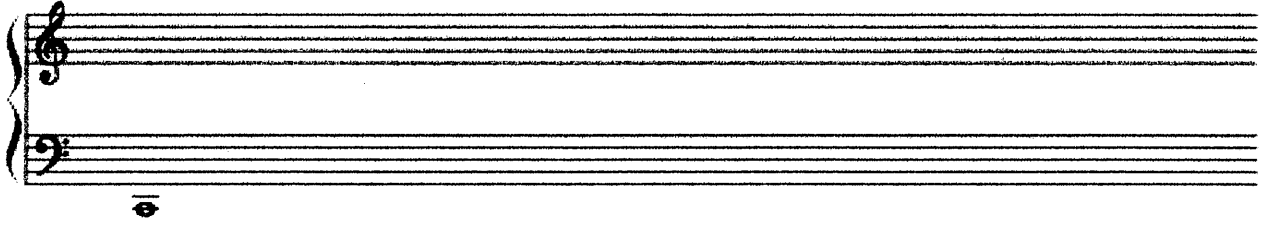
- 1) tranquillo _____
- 2) grave _____
- 3) risoluto _____
- 4) agitato _____
- 5) rallentando _____
- 6) smorzando _____
- 7) Largo misterioso _____
- 8) subito _____
- 9) senza sordino _____
- 10) tutti _____

- A. 悲しげに
- B. 全員で
- C. やや遅く(歩くような速さで)、威厳をもっておごそかに
- D. 遅く、神秘的に
- E. 決然と
- F. ラルゴより速く、そして、きわめて弱く
- G. 音をじゅうぶんに保って
- H. じゅうぶんに速く
- I. 急に
- J. 速く、優雅に気品をもって
- K. せきこんで
- L. 火のように
- M. 重々しく、おごそかに
- N. 静かに、穏やかに
- O. 弱音器を使用して
- P. 弱音器を使用しないで
- Q. 次第に遅くして行く
- R. 次第に弱めながら遅くして行く

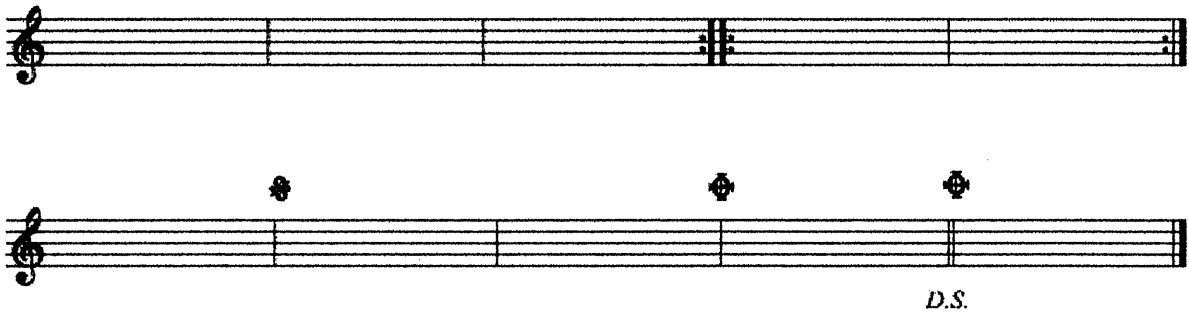
VII. 次のカタカナ表記の音楽用語をイタリア語のスペルで書きなさい。

- 1) アレグロ _____
- 2) レガート _____
- 3) デクレッシェンド _____

VIII. 次の音を基音とする倍音列を第8倍音まで書きなさい。



IX. 次に、ある曲の小節線と反復記号が記してある。この曲は全部で何小節演奏することになるか、カッコの中に答えなさい。



全部で () 小節演奏する。

X. 次の曲の和声分析しなさい。調性を明記した上で楽譜の下に和音記号を書き込む形で答えなさい。和音が転回形ならばそれがわかるように書きなさい。

The first system of music is in 3/4 time. It consists of two staves: a treble clef staff and a bass clef staff. The treble staff contains a melody of quarter notes: G4, A4, B4, A4, G4, F4, E4, D4. The bass staff contains a bass line of quarter notes: C3, D3, E3, F3, G3, A3, B3, C4. The music is divided into five measures. The first measure has a whole note G4 in the treble and a whole note C3 in the bass. The second measure has a whole note A4 in the treble and a whole note D3 in the bass. The third measure has a whole note B4 in the treble and a whole note E3 in the bass. The fourth measure has a whole note A4 in the treble and a whole note F3 in the bass. The fifth measure has a whole note G4 in the treble and a whole note G3 in the bass.

The second system of music is in 3/4 time. It consists of two staves: a treble clef staff and a bass clef staff. The treble staff contains a melody of quarter notes: G4, A4, B4, A4, G4, F4, E4, D4. The bass staff contains a bass line of quarter notes: C3, D3, E3, F3, G3, A3, B3, C4. The music is divided into five measures. The first measure has a whole note G4 in the treble and a whole note C3 in the bass. The second measure has a whole note A4 in the treble and a whole note D3 in the bass. The third measure has a whole note B4 in the treble and a whole note E3 in the bass. The fourth measure has a whole note A4 in the treble and a whole note F3 in the bass. The fifth measure has a whole note G4 in the treble and a whole note G3 in the bass.

2025 年度転部(2年次)試験 理論専攻 小論文(60 分)

次の三つのテーマの中から一つを選び、800 字程度の小論文を書きなさい。
選択したテーマは、答案用紙の題目欄に記入すること。

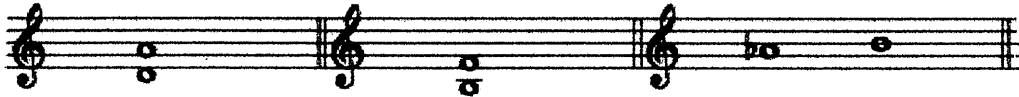
1. 音楽と私
2. もっとも興味のある音楽
3. 理論専攻で研究したいこと

受験番号 _____

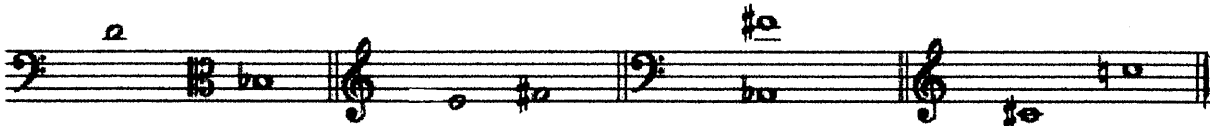
氏名 _____

答えは問題用紙に直接記入しなさい。

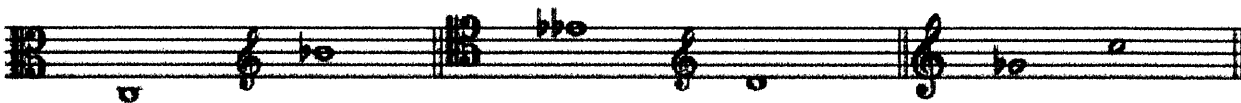
I. 2音間の音程を日本語で答えなさい。複音程は単音程に直して答えること。



(1) _____ (2) _____ (3) _____



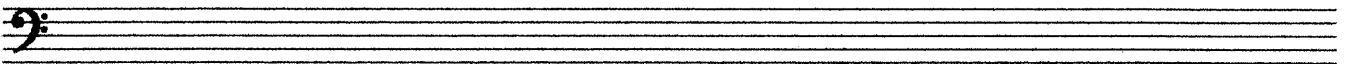
(4) _____ (5) _____ (6) _____ (7) _____



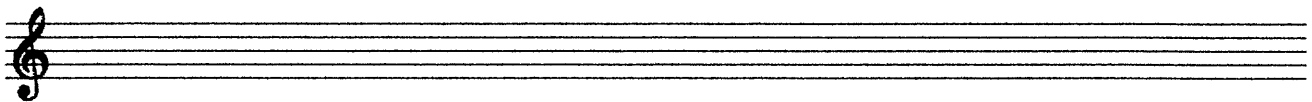
(8) _____ (9) _____ (10) _____

II. 次の(1)から(4)のそれぞれの指示に従い、音階の上行形を全音符で書きなさい。
ただし、音階の上行形と下行形が異なる場合は、上行形と下行形の両方を書くこと。

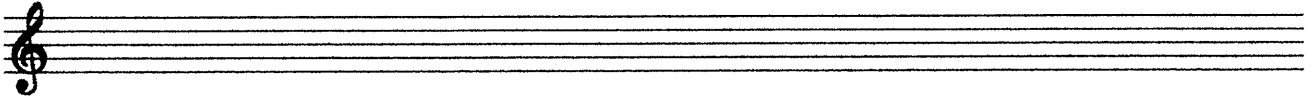
(1) 変ニ長調の音階 (調号を用いて)



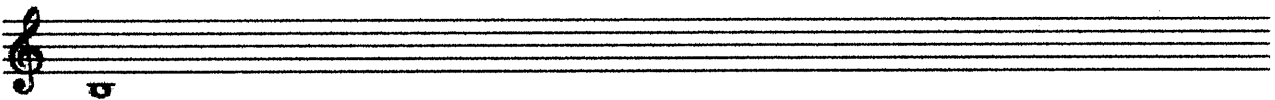
(2) 次の音を導音とする和声的短音階 (調号を用いないで)



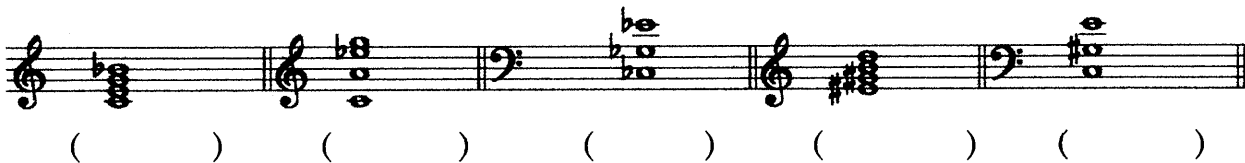
(3) 次の和音を属和音とする長音階 (調号を用いて)



(4) 次の音から始まる旋律的短音階 (調号を用いないで)



III. 以下の5つの和音の名称を、()に記号を書き込む形で答えなさい。
なお、臨時記号はその音だけに有効です。



- a) 長三和音
- b) 短三和音
- c) 減三和音
- d) 増三和音
- e) 属七の和音
- f) 短七の和音
- g) 長七の和音
- h) 減五短七の和音
- i) 減七の和音

IV. (1)と(2)の楽譜を見て、何調から何調に転調しているか、日本語かドイツ語で答えなさい。

(1)



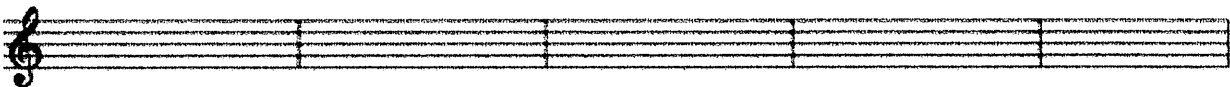
() → () → ()

(2)



() → ()

V. 問い IV の(2)の譜例の上段を、完全5度下げて書き換えなさい。その際、調号は使わずに、臨時記号を使って書き換えること。スラーはつけないで書くこと。



VI. 1)から 10)の音楽用語の意味を下の A~R の中から選び、記号で答えなさい。

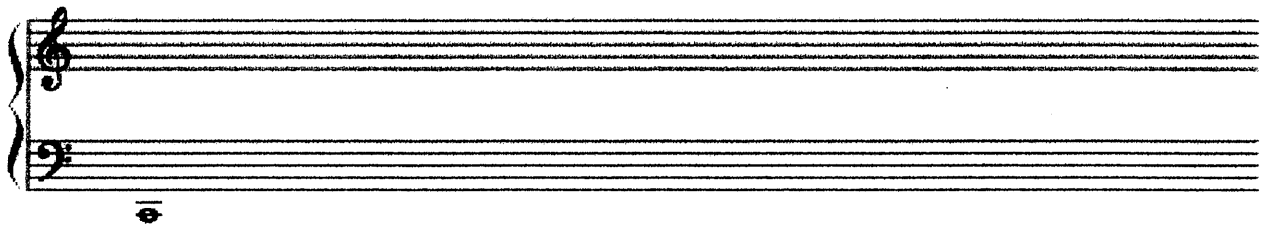
- 1) tranquillo _____
- 2) grave _____
- 3) risoluto _____
- 4) agitato _____
- 5) rallentando _____
- 6) smorzando _____
- 7) Largo misterioso _____
- 8) subito _____
- 9) senza sordino _____
- 10) tutti _____

- A. 悲しげに
- B. 全員で
- C. やや遅く(歩くような速さで)、威厳をもっておごそかに
- D. 遅く、神秘的に
- E. 決然と
- F. ラルゴより速く、そして、きわめて弱く
- G. 音をじゅうぶんに保って
- H. じゅうぶんに速く
- I. 急に
- J. 速く、優雅に気品をもって
- K. せきこんで
- L. 火のように
- M. 重々しく、おごそかに
- N. 静かに、穏やかに
- O. 弱音器を使用して
- P. 弱音器を使用しないで
- Q. 次第に遅くして行く
- R. 次第に弱めながら遅くして行く

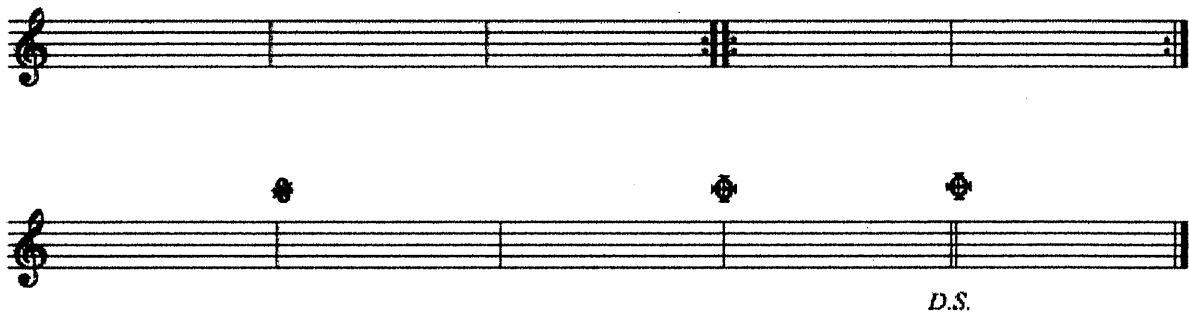
VII. 次のカタカナ表記の音楽用語をイタリア語のスペルで書きなさい。

- 1) アレグロ _____
- 2) レガート _____
- 3) デクレッシェンド _____

VIII. 次の音を基音とする倍音列を第8倍音まで書きなさい。



IX. 次に、ある曲の小節線と反復記号が記してある。この曲は全部で何小節演奏することになるか、カッコの中に答えなさい。



全部で () 小節演奏する。

令和七年度 文芸学科入学者選抜（編入学・転部試験）

作文・小論文問題

■ 次の二つのうち一つを選んで文章を書いてください。

（タイトルは自分でオリジナルのものをつけてください。）

① 「黒い月が浮かんでいた」という一文の入った作文をしてください。

② 「禁忌（タブー）」について自由に論じてください。

◎ 時間 六〇分

◎ 字数 八〇〇字以内

◎ 答案用紙の題名欄の上に、選んだ問題の番号（①か②）を記入してください。



令和7年度 編入・転部試験 演劇学科 作文課題

「集団の強みと弱み」をタイトルとし、あなたの思うことや物語を自由に作文してください。(600字/60分)

※以下、余白・裏面はメモとして使用することができます。

※この用紙は試験終了後に回収します。

受験番号 _____

氏名 _____

 令和7年度 編入・転部試験 演劇学科 舞台構想コース プレゼンテーション課題

「10年後の社会」について、あなたの考えをプレゼンテーションしてください。準備時間は60分です。その後、口述で5分発表をしてもらいます（個別）。

※以下、余白・裏面はメモとして使用することができます。

※この用紙は準備時間終了後に一度回収し、口述の前にお戻しします。

受験番号 _____

氏名 _____

2025年度

編入・転部選抜 演劇学科演技コース【演技】問題

【問題】

次のシーンを演じてください。

著作権の都合上、省略。

(清水邦夫『なぜか青春時代』より)

※ このテキストは持ったままで構いません。

【音感・リズム感】課題

リズム感はグループで実施
音感は一人ずつ実施

【リズム感】

一定のリズムの中で、他者との意思疎通を図る

【音感】

アカペラで歌う

令和7年度 演劇学科 編入学・転部試験 舞台美術コース 実技試験 プレゼンテーションシート

番号..

氏名..

令和7年度 演劇学科 編入学・転部試験 舞台美術コース 実技試験 問題用紙

番号..

氏名..

別紙の戯曲を上演するとして、あなたの考える舞台空間を提案しなさい。

(以下、余白)

番号..

氏名..

シーン一 落下（回想）断崖の上

海の色が幽かに漂っている。目を凝らさなければこの色は見えてこない。
音のようでもあり匂いのようでもある青。

柩のなかの冬逢の顔だけがぼんやりと浮かんでいる。

包帯に埋もれた冬逢の表情は微笑してでもいるかのように歪んでいる。

遠くから波の音。

父親―孝の声が過去の糸の縫れからほどけて聴こえてくる。

十六年前の断崖の上、夏。

孝 背の順に並んで。

結里 誰がチーズっていうの？

孝 パパがいう。海を写真のなかに入れたいから、もう少しみんな後ろにさがって。

冬樹 海に落っこっちゃうよ。

留里 こわいよお。

孝 大丈夫だからもう少しさがって。

貞子 あなた、もうやめてよ！子供たちこわがってるじゃない。

孝 冬逢、お前はママの隣じゃないだろ？留里の隣、一番端だ。

冬逢、泣き出す。

貞子 もうたくさん撮ったじゃないーあなた、もうやめてよ。

孝 はい、みんな笑って、チーズ！

カメラのシャッター音。

写し出されるのは海ばかり。

波が過去の糸を縫れたまま流してしまう。

令和7年度編入学・転部試験 放送学科 作文試験問題

作文課題

「けんもほろろ」

六〇〇字

六十分

試験実施日 令和6年12月8日(日)

令和7年度 デザイン学科 帰国生/編入・転部/校友枠選抜 入学試験問題

デッサン(4時間)

用紙: B3画用紙

画材: 鉛筆

【課題】

与えられたモチーフ、「ウォータースプレー」、「アクリル並太(毛糸)」、「スコップ」、「オレンジの画用紙(B4版)」、「Wが印刷された紙(A4版)」を以下の条件にもとづき、台紙の上にセットし鉛筆でデッサンしなさい。

【条件】

1. モチーフは「ウォータースプレー」、「アクリル並太(毛糸)」、「スコップ」、「オレンジの画用紙(B4版)」、「Wが印刷された紙(A4版)」とする。
2. 配布された「アクリル並太(毛糸)」は、配布時の毛糸玉の状態から糸端を約1m程度ほどき、任意に配置して使用すること。
3. 「オレンジの画用紙」は加工せず、他のモチーフの下に平に敷いた状態でセットすること。
4. 「Wが印刷された紙(A4版)」は、任意の角度で直線的に一度だけ折り目をつけ、それを開いた状態で、「オレンジの紙(B4版)」の上に敷き、セットすること。
5. モチーフの固定には、ねりゴムを使用してもよい。
6. 台紙は描かなくてもよい。
7. 配布した白いコピー用紙(A3版)は下描きに使ってもよい。
8. 定規、コンパス、デッサンスケールは使用不可とする。ただしはかり棒の使用は可。
9. 用紙は名前の記入欄が右上になるように横位置にて使用すること。



デザインプレゼンテーション (4時間)

用紙:「B3ケント紙1枚+PMパッド1枚」

画材:鉛筆および色鉛筆

[課題]

一般的に屋外で開催される「イベント」にかかわる問題を見つけ出し、あなたが考えたデザインによる「問題提起」もしくは「問題解決」をしなさい。

現代日本において「イベント」といった場合には、運動会や文化祭などのような大規模な学校行事、花見や誕生日パーティーなど個人的な行事、阪神甲子園球場の高校野球大会、オリンピック、あるいはサッカーのワールドカップのようなスポーツの大会、地方公共団体や地域社会が行う祭り、万国博覧会などの国家的な行事、などを指すことが一般的である。また、販売促進のために行われる歌手・タレント・声優・作家・漫画家らの握手会やサイン会などの催し物を指すこともある。(Wikipedia より)。

ただし、本試験においては大衆が広く参加して屋外で開催されるイベントを対象とする。

この「イベント」についてどのような問題があり、どうしたらそれをデザインで解決できるのか具体的に提案してください。または、気づきにくい問題点や面白さに着目し広く知ってもらうための提案でも構いません。

例えば、新しい「製品」「空間」「サイン表示」、または「問題点や面白さを知ってもらうための広告」など、あなたが得意とする分野での実現可能な提案を求めます。

[条件]

1. 答案用紙は2枚あり、PMパッド(薄い紙)1枚はアイデアやメモ用として自由に使い、ケント紙には最終回答を記入すること。
2. 表現方法は自由(筆記用具は鉛筆および配布された色鉛筆を使用すること。定規類やコンパスの使用は不可とする。)
3. 用紙は氏名欄が右上になるように横位置で使用し、氏名欄に答案が被らないようにすること。
4. 用紙は2枚ともすべて提出とし、2枚の総合評価とする。

以上